

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	4年次・夏期休業期間・B群
	対象学科・専攻	電子制御工学科
工場実習 (Factory Training)	担当教員	福添 孝明(Fukuzoe, Takaaki) 電子制御工学科教員および非常勤講師
	教員室	電子制御工学科棟3階(42-9086)
	E-Mail	fukuzoe@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 1単位	
週あたりの学習時間と回数		
〔本科目の目標〕 電子制御に関する学問や新技術が産業界でどのように活かされているか、約1週間の期間をもって、企業に出向き実際の会社での業務にふれて実社会での活動を体験し、また実学的な経験を会得する。		
〔本科目の位置付け〕 企業での実務を経験することによりどのようなことが実社会では求められているかを判断し、今後の学習に生かす。		
〔学習上の留意点〕 企業では学生のために時間と労力を割いてくださるので、そのことを念頭に、礼儀に失することなく社会人としてのマナーを考えながら行動すること。また、実習中は積極的に質問し実学を吸収することにつとめる。 次のような点に留意すること。 (1) 社会人に見合う良識とTPOをわきまえた節度ある行動をとり、当該企業の規律等に従うこと。 (2) 事前に工場実習の誓約書を提出すること。 (3) 工場実習の心得に従い、実習終了後は直ちに工場実習報告書を提出すること。 (4) 万一の事故などに備え、災害傷害保険等に加入すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
原則として協力企業に約1週間程度出向き、受け入れ企業から提供される実習テーマに基づいて実習を行う。		社会の要求を理解し、自分の学習計画を立てられる。 決められた期間内に実験・研究を行い、成果を纏め、発表討論できる。
〔教科書〕なし		
〔参考書・補助教材〕プリント		
〔成績評価の基準〕レポート(100%) - 授業態度		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕3-d,4-a		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕3-3,4-2		
〔JABEEとの関連〕(d)(2)d)		